

あなたのそばで 夢みる数字新聞

特集「日本の心」

東日本震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申しあげます。この震災をとおして、お互いに助けあったり、まわりの人のために行動する人たちの姿が目撃され、日本人が育んできたものの感じ方や考え方が見直されています。ぜひこの機会に、私たちの暮らしを豊かにし、勇気を与えてくれる精神の源を探ってみましょう。

インタビュー

映画監督 大友啓史さん

NHKドラマ『龍馬伝』『白洲次郎』をはじめ、さまざまな話題作を世に送り出してきた大友監督。今回のテーマである日本の心について語っていただきました！

小学生の頃の夢を教えてください。低学年のときは野球選手！今の仕事とのつながりで言うと、野球って個人プレーだけど、チームプレーでもある。映画も、それぞれの能力を持つ人が集まってきて、ひとつのものを作り上げていくためのチームプレーですから、そこは共通するかもしれないですね。だから、チームの規模が大きくなった感じがかな。エキストラの人たちも含めて50人、100人が力を合わせてはじめて、良い作品ができる。

歴史上の人物を描いてきた大友監督が感じる日本人らしさってありますか？
僕はね、日本人って本当に「やせがまん」だと思ってるんです。自分で規律を作って、自分を律する。そうやって文化を育んできた。震災でも、被災地の人たちは自分たちが一番しんどいのに、それを口に出さず、他の人をいたわったりする。そういう姿を他の国の人が見ていると思うわけです。東北人たちが見せてくれたのは、そういう日本人

「らしさ」だと思います。目に見えないものが受け継がれているんですね。「武士は喰わねど高楊枝」って、やっぱりそこに戻る。日本人の倫理観はその時代に作られたんじゃないかな、と感じますね。武士は士農工商でいえば特権階級だけど「自分たちは食う物を支えてもらっている。世の中に対して貢献しなければ」という志が熱を持ち、大きなうねりとなって幕末の改革につながった。その土壌が今も豊かに息づいている気がしますね。

作品を通じて、大友監督がその人物から影響を受けているってことはありますか？
あります！ひとりの人物を取り上げるっていうことは、その人物の線でものを見るってこと。その人の人生を追体験していくので、価値観をどこかで共有してしまう。龍馬は日本を変えようとした革命家。僕は日本を変えようとした革命家じゃないとまずいんじゃないの？と。



おおとも・けいし 1966年岩手県盛岡市生まれ。NHK朝ドラ「ちゅらさん」ドラマ・映画「ハゲタカ」等、多数の話題作を演出。2011年フリーに転身。明治維新後の志士を描いた人気漫画「るろうに剣心」原作の映画が2012年夏公開予定。

それでカメラから撮り方からすべてを変えて仕事に挑む。さらに「これは脱藩するしかない」と会社を辞めてフリーになった(笑)。次に行かなきゃ、という感じになってくるんですよ。
現代の子もたちが夢をつかむヒントをいただけますか。夢を持つのはいいことだけど、生きていく中で自然に見つかることもあるので焦らなくていい。一生懸命やっていたら、夢は向こうから寄ってきます。僕がそうでしたから。あと、昔から日本人は「何事も10年はかかる」と言っていましたよね。あれは本当だと思う。だから、これがやりたい！と思ったら、辛抱して打ち込んでみるのが大事ですよ。

豊かな緑に囲まれて、 どっしりと構えるその姿

今 回のポスターの主役を飾っているのは「日本100名城」にも選ばれている小田原城です。地元では馴染み深い存在ですが、若い世代を中心に歴史ブームの影響もあって、2010年度の入場者数は約40万人を記録したそうです。震災では、助けあい、相手を重んじる日本人の精神文化が外国から注目を浴び、私たち自身が自分の国を見直すきっかけともなりました。自分が受け継いでいる豊かな価値観を、身近な歴史的建造物からたどってみるのもいいかもしれません。ポスターの数字「17」は、その日本人の精神文化に関係があります。じつは、新渡戸稲造の名著『武士道』が、どれだけの言語に訳されているかを示しているのです。新渡戸稲造の功績に詳しい盛岡市先人記念館の調査によると、英語、ロシア語、イタリア語から、ノルウェー語、アラビア語まで17の言語に訳されて、海外でも広く読まれているそうです。昔の五千円札の顔としても知られている新渡戸さんですが、日本人の目に見えない資質を世界に伝える、素晴らしい役割を果たしてくれていたのですね。

★ おしえて! 夢みる値段 ★

このコーナーでは、特集にまつわる「夢みる値段」を、ちょっと詳しくご紹介します！

[5,600円]

今回の店頭ポスターでとりあげているのは、神奈川県立武道館で開催されている、初心者弓道教室(全20回)の参加費です。ちなみに中級者なら、全15回のレッスンで4,200円。武道館ではこのほかにも、柔道や剣道、合気道など、小学生から一般まで多くの皆さんを対象にした武道教室を開講しています。手頃な参加費で、強く美しいニッポンの心を、かたちから学ぶことができる武道館の武道教室、親子で参加してみたいはいかがでしょう？

お問い合わせ：神奈川県立武道館 TEL：045-491-4321

夢や目標を叶えるため、時には心や身体を鍛えるためにも必要なおかね。人生とともにおかねについても一緒に考えていきましょう。

伝統文化に触れることは ニッポンの心に触れること

伝

統文化というとき、皆さんはどんなイメージがありますか？もしかして、すこし固いイメージがあるかも知れませんが、たぶんそれは「決まりごと」が多いから。例えば「茶道」は、歩き方から始まり、ふすまの開け方、お辞儀の仕方、扇子の置き方、お菓子のいただき方……と、独特な所作によっておこなわれます。このように決められた「型」は、「茶道」だけに限らず「華道」や「武道」など、ニッポンの伝統文化に通じること。ところで皆さんはこの伝統文化のなかでも「茶道」は誰でも気軽に体験できるということをご存知ですか？ 鎌倉五山のひとつ「浄妙寺」には、1500年代からの歴史をもつ茶堂があり、お抹茶を楽しむことができます。また、円覚寺近くの「東慶寺」にある寒雲亭では、武者小路千家流の茶道を体験することができます(要予約)。鎌倉を訪れた際には、伝統文化を体験し、ニッポンの心に触れてみてくださいね。



お問い合わせ
浄妙寺 046712212818
東慶寺 046712211663

それゆけ! 撮影隊



今回モデルになってくれたのは、鎌倉女子大学中等部、弓道部の3年生。撮影では「感謝と奉仕に生きる人づくり」を信念とする学校だけに、凛とした姿で何度も矢を射ってくれました。美しい弓道場にて、写真家の本城氏と記念にばっちり。

表紙と店頭ポスターの撮影：本城直季
1978年生まれ。写真家。ミニチュアのように撮影する独自の手法で知られる。写真集「small planet」で第32回「木村伊兵衛写真賞」受賞。